

グローバル BCP 研究会 2010 年度 第五回会合 (議事録)

1. 会合概要

- (1) 開催日時：2011 年 1 月 19 日(水) 16:00~17:45
- (2) 場所 所在地：東京都中央区日本橋本町 4 丁目 3-4 東海日本橋ビル
会場名：BCAO 東京オペレーション事務所会議室
- (3) 今回の議長役：(前半) 白澤副座長、(後半) 原田座長
- (4) 議事録作成者：白澤
- (5) 出席者：以下 X チェックの 6 名 (会員 12 名)、欠席者：以下 6 名

メンバー(X=出席)		メンバー(X=出席)		オブザーバー など	
1.座長 原田泉	<input checked="" type="checkbox"/>	11.菅谷 豊	<input checked="" type="checkbox"/>	理事長 丸谷様	<input type="checkbox"/>
2.副座長 白澤健志	<input checked="" type="checkbox"/>	12.皆川	<input type="checkbox"/>	事務局長 細坪様	<input type="checkbox"/>
3.上田 悦久	<input type="checkbox"/>	13.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
4.大木 幸久	<input type="checkbox"/>	14.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
5.金井 正弘	<input checked="" type="checkbox"/>	15.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
6.小山 和博	<input type="checkbox"/>	16.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
7.佐久間 勇児	<input type="checkbox"/>	17.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
8.佐々木 忍	<input checked="" type="checkbox"/>	18.	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
9.志方 宣之	<input type="checkbox"/>	19.	<input type="checkbox"/>	出欠 ON/OFF は右クリック、プロパティ の既定値の設定で	
10.篠原 秀一	<input checked="" type="checkbox"/>	20.	<input type="checkbox"/>		

- (6) 次回開催予定

第六回 2011 年 2 月 22 日(火) 16:00~17:30 BCAAO 東京オペレーション事務所会議室

- (7) 当日配布資料

①グローバル BCP 構築の注意事項 (案)

2. 議事内容

- (1) グローバル BCP 構築の注意事項について

※前回までの議論の内容を内閣府ガイドラインの項目に沿ってまとめ、さらに事前に ML 上で収集した各メンバーの意見を列記したエクセルシート (資料①) を作成した。

なおエクセルシートの整理に当たっては、小山様 (今回欠席) のご支援をいただいた。

①全体について

- ・「日本+1 国以上」にまたがる BCP をグローバル BCP として想定する。
(外資企業や、多国間で多面的に展開する企業・事業を想定したものではない)
- ・項目の並べ方はこれでよい。ただし ISO の動向はフォローしておくべき。

②「1. 方針」について

資料の各行（意見）を吟味しながら、以下のような議論をした。

- ・あえてグローバル BCP を作らず、各国内で閉じた（各国内のみの）BCP を作り並べればすむケースもある。まず自社にとっての必要性を吟味する。
- ・まず海外に BCP を展開する必要性の有無を考えること。
- ・本社と現地、それぞれのトップが BCP を作る理由とその重要性を認識すること。
- ・押し付けでは動かない。現地在主体的に動けるようにすること。（上田さん意見群の集約）
- ・方針は、ブレイクダウンして具体的に現地に示すこと。
- ・対象とするリスクの範囲は、現地の意見をよくきいてきめるべき。
- ・本国と現地の分担（ポリシーまでか、BCP までかなど）についての方針をまず立てる。
- ・海外企業はトップダウンで動く文化がある。日本企業は違うのでそれを認識しておく。

③今後の進め方について

- ・項目別に担当割をして、それぞれ「まとめ案」を作り、次回、全員で全体を確認する。そのまま最終アウトプットとして出せるような書きぶりとする。担当割は以下の通り。

原田 1
上田 2、 3. 1
金井 2. 1、 3. 2
小山 2. 2、 3. 3
佐々木 2. 3、 3. 4
志方 2. 4、 3. 5
篠原 2. 5、 4
菅谷 2. 6、 5
白澤 6

(2) 1/25 運営会議での報告事項について

①進捗報告のまとめについて（1/21 締切）

- ・座長がまとめる。今年度費用について、講師料を予定とする。書籍購入も可能。

②研究会の会合で外部講師に話をきくことについて

- ・3月上旬実施をめどに、講師を呼んで話を聞きたい。テーマはグローバル BCP の成功事例。
- ・メンバーに講演者候補を推薦してほしい。

③来年度の活動について

- ・中国の清華大とのシンポジウムを、当研究会が主体となって、BCAO として企画する。
- ・事務局長了承済み。時期は8月末～9月初め。双方で数枠ずつの講演を予定する。
- ・中国では BC の考え方が急速に普及している。災害も多く、ニーズもある。
- ・日中の推進団体間・企業間・有識者間で情報共有と相互交流が進むことは意義がある。
- ・日本から中国に進出している企業にも役立つ。
- ・詳細については次回以降検討していく。

以上